

# プラネタリウムのある総合博物館 熊本市立熊本博物館

原 秀 夫

〈熊本市立熊本博物館 〒860-0007 熊本市古京町3番2号〉

e-mail: hara.hideo@city.kumamoto.lg.jp

熊本博物館は、熊本城三の丸に位置する熊本市立の総合博物館です。自然・人文・理工の常設展示や特別展・企画展、各種講座などを行っています。天文分野では、市民が身近に星に接することのできる施設として、プラネタリウムを中心とした多様な活動を行っています。多くの科学館や公開天文台とはちょっと違った総合博物館での取り組みをご紹介します。

## 1. はじめに

熊本博物館は1952年に設立され、幾多の変遷の後、1978年に現在の博物館本館が建設されました(図1)。熊本市立の施設ながら、熊本県における唯一の総合博物館としての役割を担っています。学芸員の専門分野も、地質、動物、植物、考古、歴史、民俗、理工、天文とさまざまです。

天文に関する常設展示や観測・観望施設(天文台)はなく、プラネタリウムのみを設置しています。1993年までは、館外の会場にて定期的に「星を見る会」を行っていましたが、周辺環境の悪化などにより、現在は臨時の催しとしてのみ実施しています。したがって、普段は、プラネタリウムを活用した教育普及活動が中心です。

## 2. 新しくなったプラネタリウム

そのプラネタリウムを今年3月にリニューアルしました。プラネタリウムは、現在の博物館本館建設に伴い設置されましたので、34年目を迎えます。これまでの観覧者数は190万人に上り、熊本県民が一人1回は見た計算になります。1992年に、投映機本体や制御装置などを更新していますが、今回は座席やドームスクリーンを含めた全面



図1 熊本博物館外観。

更新となりました(図2)。

新しい機械は、五藤光学研究所のクロノスII(光学式投映機)とバーチャリウムII(デジタル式投映機)のハイブリッド・プラネタリウムです。デジタル式投映機の導入により、地球上から見た星空だけにとらわれないさまざまなシミュレーションが可能になりました。

当館のプラネタリウム運営の特徴は、職員による星空解説とオリジナルの番組です。星空解説は、毎回ライブ解説で、じっくりと当日夜の星空を紹介しています。日の入りの場面のスカイラインは、熊本城の天守閣から見た様子です。



図2 新しくなったプラネタリウム。



図3 物語の朗読を交えた特別放映の様子。

番組制作では、総合博物館としての利点を活かした取り組みを行っています。リニューアル記念番組として制作した「星が見てきたKUMAMOTO」では、渾天儀の運動をCGで再現したり、西郷星（火星）の登場する錦絵とともにそのときの星空を再現したり、館収蔵資料を活用した分野の垣根を越えた番組作りを行いました。

### 3. より多くの人に星空を

当館では、プラネタリウムを通して一人でも多くの人に星空に接してもらえよう、多くの事業を行っています。

毎週土曜、日曜に実施しているファミリーアワーは、幼児から小学校低学年の子どもたちを対象とした時間です。また、2005年からは、聴覚障がい者にもプラネタリウムを楽しんでいただける機会として、定期的に字幕付きプラネタリウムを行っています。ほかにも、プラネタリウムを活用した天文教室や、音楽の演奏や物語の朗読を交えた特別放映などを実施しています（図3）。

### 4. 収蔵資料と展示会

博物館の展示活動として年に数回開催する特別展・企画展では、天文に関する展示も行っています。今春には、日本天文学会創立100周年記念の企画展「ガリレオの天体観測から400年 宇宙の



図4 企画展「宇宙の謎を解き明かす」。巡回展示物の一つであるドップラー効果体験装置。

謎を解き明かす」を開催しました（図4）。3月26日から5月8日までの会期中には、16,602人の方々にご来館いただきました。この中には、巡回展示物のほかに、館収蔵資料である日本最初の銀めっきガラス反射望遠鏡の展示を行いました。

また、関連行事として、2回の講演会と天体観察会を実施しました。天体観察会は、熊本市近郊にある合志市西合志図書館天文台を会場に行いました。天文台の40cm反射望遠鏡での観察や、ガリレオの望遠鏡と現在の望遠鏡（ほぼ同口径・同倍率）を使っての見比べ（土星）をしました（図5）。

当館では、天文にも関係する歴史資料を収蔵しています。渾天儀や視実等象儀、六分儀などです。

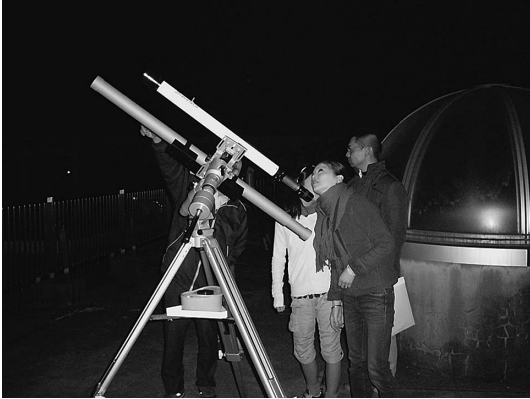


図5 天体観察会.

常設展示はしていませんが、企画展やプラネタリウム番組の中で、たびたび紹介しています。これらの中には未調査のものも多くあり、今後の課題です。

## 5. おわりに

館内の設備で天体観察ができないのは残念ですが、熊本県内には多くの公開天文台があります。星空に親しむファースト・ステップとして、まず街中のプラネタリウムに来てもらい、次は、本物の星を見に公開天文台へ、という流れが作れたらと思います。

また、収蔵資料を活用した事業展開など、これまで以上に総合博物館としての取り組みを進めていきたいと思っています。

「プラネタリウム」と「総合博物館」をキーワードに活動するユニークな天文施設に、ぜひお立ち寄りください。

熊本市立熊本博物館 Kumamoto City Museum

〒860-0007 熊本市古京町3番2号

TEL: 096-324-3500 FAX: 096-351-4257

<http://webkoukai-server.kumamoto-kmm.ed.jp/>

・開館時間 9時～17時（入場は16時30分）

・休館日 月曜日（祝日の場合は翌日）

年末年始（12月29日～1月3日）

保守点検日

・博物館入場料 大人・高校生 300円

小・中学生 100円

・プラネタリウム観覧料 大人・高校生 200円  
中学生以下 100円

・アクセス 熊本城周遊バスで「博物館・旧細川刑部邸前」下車

熊本市電 杉塘または段山町下車、徒歩8分